

令和元年度 高度産業人材育成事業（IT研修）のご案内

主催（公財）かがわ産業支援財団

コース区分	コース名	定員	日数	研修内容	受講料・教材費 (税込)円	受講対象者	実施時期	会場
① プロジェクトマネジメント								
システム マネジメント	M011 「プロジェクトマネジメントの計画とコントロール」 筑波大学 准教授 木野 泰伸 氏	20	2日	企業・組織・個人の目標を達成するための、プロジェクトマネジメントの方法を体系的に学ぶ。この半世紀に世界で蓄積されてきた「モダンPM」の内容を、具体的に分かりやすく解説する。身近なプロジェクトに使えるようになるのが目的である。	3,000	興味のある方全て	7月29日(月) 7月30日(火)	専門研修室
	M012 「プロジェクトマネジメント演習」 筑波大学 准教授 木野 泰伸 氏	10	3日	だれにでもわかる簡単なケースを用いて、プロジェクトマネジメントを体験的に学ぶ。参加者がチームを編成して事例演習を行うことで、世界共通のモダンPMの進め方が体得できる。	5,000	「プロジェクトの計画とコントロール」を受講している方、もしくは同程度の知識を持っている方。	10月7日(月) 10月8日(火) 10月9日(水)	ネクスト3F 大会議室
② デザイン思考								
システム マネジメント	M021 「演習を通して学ぶ、デザイン思考・アート思考」 香川大学 創造工学部教授 大場晴夫 氏	20	2日	「デザイン」や「アート」という概念は、一部のクリエイティブな職種の人には関係のないものと思われるかもしれませんが、しかし実際は、ビジネスやエンジニアリングなど、あらゆる領域で応用され、企業でも導入するケースが増加しています。「デザイン思考」や「アート思考」を身につけることで、誰もがユニークな視点で、解くべき課題を発見し、創造的な解決法に近づけることができます。 このワークショップでは、「デザイン思考」や「アート思考」とは何か。どのような手法とプロセスがあるのか、また問題の種類によって適した活用方法などを、事例を通して紹介します。また同時に、鉛筆スケッチなど実際に手を動かす演習を通して（上手に描く必要はありません）、誰もが持っている感性を引き出す訓練を行います。左脳（論理性）と右脳（感性）の両方をバランス良く活用した思考スタイルを身につけ、課題を独自の視点で発見し創造的に解決する力を身につけます。	3,000	興味のある方全て	11月28日(木) 11月29日(金)	専門研修室
	③ 業務分析設計概説							
システム 上流	E031 「業務分析設計概説」 ～システム開発における要件定義のまとめ方～ NPO法人 ITCかがわ 会長 中庭 正人 氏 NPO法人 ITCかがわ 理事 塚本 浩二 氏	15	2日	システム開発の上流工程において、全体最適な視点での業務要件、システム要件を導き出す技法を学ぶ。顧客と関係を構築し、必要な情報を引き出すなど、システム要件に必要なコミュニケーション手法を学ぶ。	受講料 3,000 教材費 2,000	対象：システム開発で顧客要件の定義作業に携わる必要のある方。 前提知識：システム開発工程の全体像に関する知識のある方。	11月14日(木) 11月15日(金)	専門研修室
	④ アプリケーション開発							
システム 下流 プログラミング	E041 「JavaScript」 香川大学 工学部 准教授 香川 考司 氏	15	2日	・JavaScriptの概要 ・JavaScriptの文法・制御構造・関数 ・JavaScriptによるDOMの操作 ・JavaScript API (Ajax, Canvas, WebStorage, ...) ・JavaScript上のライブラリー ・ジェネレーター、非同期関数	3,000	何らかの言語でプログラミング経験のある方。 ※パソコンの持込みが必要（普段、使用しているPCであれば、問題ありません。）	9月3日(火) 9月4日(水)	専門研修室
	E042 「Python プログラミング」 香川大学名誉教授 本田 道夫 氏	15	2日	○Python と Anaconda ○コマンドプロンプト画面でのPython の利用 ○Python の言語説明 ・数値、文字列、変数 ・リスト、タプル、辞書、集合 ・プログラムの制御構造、関数 ・モジュール、パッケージ、プログラム ・クラスとオブジェクト ○ファイル入出力 ○ライブラリーの利用 ・グラフ描画 ・NumPy ライブラリーによる配列操作	3,000	C, C++, C#, Java などのプログラミング言語のいずれかを知っていることが望ましい。 ※パソコンの持込みが必要（仕様としては、Python とライブラリーが豊富な Anaconda などを入れるため 6GB 程度の空きが C ドライブに必要）	7月8日(月) 7月9日(火)	専門研修室
⑤ 人工知能								
システム 下流 アプリケーション	S051 「人工知能入門・実践講座」 早稲田大学 澤田教授研究室 講師 臺原 学 氏 橋本 尚輝 氏 光武 弘輝 氏	15	2日	受講生の持込みPCにテンソルフローなどの開発環境をインストールし、研修・自主学習を通じて、Deep Learningのプログラミングと活用事例を学ぶ。 ・受講生のPCへのディープラーニング開発環境の設定 ・実際の課題についてのプログラミング ・ニューラルネットワークの原理、数学的基礎、ディープラーニングへの展開に関するレクチャー ・機械学習の事例紹介	3,000	・Pythonの基礎知識をお持ちの方。 ※パソコンの持込みが必要（NVIDIAのGPU（グラフィックボード）を搭載していること）	8月27日(火) 8月28日(水)	専門研修室
	⑥ xR (VR, AR, MR)							
システム 下流 アプリケーション	S061 「初めてのxR (VR, AR, MR) 入門講座」 青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング 特任研究員 小野 好之 氏	15	1日	エンタメから産業応用まで幅広い分野で注目されているxR (VR, AR, MR) の入門コース。実際に体験をした上で簡単なコンテンツ作成の実習を行う。 ・xR (VR, AR, MR) とは ・xRの応用分野と事例紹介 ・Oculus RiftによるVR体験 ・ARコンテンツの作成実習 ・グループワークショップ	2,000	VR, ARIに関心があるエンジニア、商品・事業企画担当者 実習ではProcessingとArduinoを使った簡単なプログラミングを行うが初心者でも可。	10月18日(金)	専門研修室

- 開催時間／9：00～17：00
- 会場／香川産業頭脳化センタービル
専門研修室
ネクスト3階大会議室

お申込み方法

- 受講開始日の2週間前まで、先着順にて受け付けていただきます。
- 各コースとも定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください。
- 「受講申込書」に必要事項をご記入の上、郵送、FAX、e-mailまたは窓口持参にてお申込みください。
「受講申込書」は、当財団ホームページ（<https://www.kagawa-isf.jp/>）から、ダウンロードしてご活用ください。

お問い合わせ・申し込み先



〒761-0301 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F Tel.087-868-9901 Fax.087-869-3710
ホームページ <https://www.kagawa-isf.jp/> E-mail kikaku@kagawa-isf.jp

応援します！ かがわの人材育成

